

次世代AIモデルによる海底測量点群の自動ノイズ除去

事業概要(フェーズ1)

内容

次世代AIのひとつであるスパースモデリングによりMBES測深データのノイズ判別技術を開発する。

背景・経緯

MBES測深に含まれるノイズ判別は測量業務の大きな障害。統計的手法や機械学習AI(CNNモデルAI)も用いられているが性能が十分でなく使いやすいとは言い難い。

狙い、波及効果

スパースモデリングAIにより、通信環境が乏しくても高性能コンピュータではなくても現場で高性能ノイズ判別が可能な技術を開発する。

事業化

国産唯一の海洋先端技術研究所MBES処理ソフトウェアに実装し、既に実装済みCNNモデルAIとあわせ、それぞれの得意不得意海域やユーザーの用途に応じて選択できるようにする。国内のみならず海外にも販路を拡大していく。

株式会社海洋先端技術研究所

本社所在地	東京都中野区本町2-29-12
設立／資本金	1997年/30,000千円
従業員数	15名（2024年8月現在）
事業内容	クラウド関連：クラウド用ソフトウェア作成 クラウド管理 データ処理解析：地形・地質・地震データ解析業務 ソフトウェア作成：受注ソフトウェア作成 ソフトウェア販売：自社作成ソフトウェア販売・保守

